

## 令和2年版 治山林道必携 積算・施工編 の訂正について（ご案内）

お客様におかれましては、当協会発行の書籍をご利用いただきありがとうございます。

さて、令和2年8月に発行いたしました見出しの書籍につきましては、令和2年8月20日に林野庁から追加の正誤が発表されました。本訂正は、この林野庁正誤表に対応するとともに、その他の訂正を要する事項を併せまして、以下のとおり謹んでお知らせ致します。皆様にはご不便をおかけしますこととお詫び申し上げます。

（訂正箇所）上巻 250 ページ 第1編 第2 2-10 2-10-1 (1) 2)表中  
「編柵用杭木(木材・パイプ)」の欄を削除

（訂正箇所）上巻 539 ページ 第1編 第7 7-4 7-4-2 (1) 木製筋工 (A)  
表中 普通ボルトの行 規格欄

（誤）22 mm

（正）0.22m

（訂正箇所）上巻 540 ページ 第1編 第7 7-4 7-4-2 (2) 木製筋工 (B)  
表中 普通ボルトの行 規格欄

（誤）22 mm

（正）0.22m

（訂正箇所）上巻 710 ページ 第1編 第8 8-14 5 H型工の使用区分 の後  
6 部材質量 の前に以下の内容を追加

### 6 仮設材賃料に係る修理費及び損耗費等の取扱いについて

#### 6-1 H形鋼等の1現場当たり修理費及び損耗費について

H形鋼等の1現場当たり修理費及び損耗費は次式のとおりとする。

$$Y = a \cdot b$$

Y：H形鋼等の1現場当たり修理費及び損耗費（円/t）

※覆工板は単位を（円/m<sup>2</sup>）に読み替える。

a：係数 b：市場価格

表6. 1 H形鋼等の1現場当たり修理費及び損耗費算定のための係数及び市場価格

名称		補助工法	係数 (a)	市場価格 (b)
H形鋼	山留主部材	＝	1.09	鋼製山留材 整備費
	覆工板	＝	1.22	覆工板 整備費

- (注) 1. 修理費及び損耗費は、整備費、修理費（特別ケレン・穴埋め・曲がり直し等）切断による短尺補償、打込による破損を含む。
2. 修理費及び損耗費は、土質、打込又は引抜き等の難易等の作業条件を十分考慮して適用を決定する。
3. 補助工法とはウォータージェットまたはアースオーガ併用工法、硬質地盤専用工法、プレボーリング工法等をいう。

6-2 山留主部材等の副部材について

副部材の賃料（1現場当たり修理費及び損耗費を含む。）は次式のとおりとする。

$$Y = a : b$$

Y：副部材の賃料（円/t） a：係数 b：市場価格

表6. 2 副部材の賃料（1現場当たり修理費及び損耗費を含む。）算定のための係数及び市場価格

名称		係数 (a)	市場価格 (b)	
副部材 (A)	基礎価格	1.21	鋼製山留材 部品 不足分 弁償金 (新品)	
	供用 1 日当たり 賃料 (日)	90 日以内	1.48	鋼製山留材 部品 賃料
		180 日以内		
		360 日以内	1.47	
		720 日以内		
1080 日以内				
	1 現場当たり修理費及び損耗費	1.13	鋼製山留材 部品 整備費	
副部材 (B)	1 現場当たり修理費及び損耗費	1.01	鋼製山留材 部品 不足分 弁償金 (新品)	

(訂正箇所) 上巻 711 ページ 第1編 第8 8-14 6 部材質量

(誤) 6 部材質量

(正) 7 部材質量

(訂正箇所) 上巻 711 ページ 第1編 第8 8-14 6 (1) 表6. 1

(誤) 表6. 1 部材質量算出方法

(正) 表7. 1 部材質量算出方法

(訂正箇所) 上巻 712 ページ 第1編 第8 8-14 6 (2) 式

(誤) 受桁及び桁受質量 (t) = 覆工板設置面積 (m<sup>2</sup>) × 0.134…… (式 6. 1)

(正) 受桁及び桁受質量 (t) = 覆工板設置面積 (m<sup>2</sup>) × 0.134…… (式 7. 1)

(訂正箇所) 上巻 713 ページ 第1編 第8 8-14 7 単価表

(誤) 7 単価表

(正) 8 単価表

(訂正箇所) 上巻 713 ページ 第1編 第8 8-14 7 単価表 (3) 覆工板受桁及び  
覆工板受桁桁受賃料 (設置面積 700 m<sup>2</sup>以下) 1 m<sup>2</sup>当たり単価表  
受桁・桁受質量の行 摘要欄

(誤) (空白)

(正) H形鋼 (山留主部材)

(訂正箇所) 上巻 735 ページ 第1編 第8 8-15 5 (9) 機械運転単価表

クローラクレーンの行 摘要単価表欄

(誤) 機-27

(正) 機-18

(訂正箇所) 上巻 1078 ページ 第3編 第3 3-4 (11) 5) ベント設備の質量 式

(誤)  $h < 10 \quad T_i = 0.372 \times (B+1.5) + \{4.737 \times n + 0.372 \times (B+1.5)\} \times h / 10$

$10 \leq h \leq 30 \quad T_i = 0.39 \times n \times h + 0.744 \times (B+1.5) + 0.837 \times n$

(正)  $h < 10 \quad T_i = 0.372 \times (B+1.5) + \{4.737 \times n + 0.372 \times (B+1.5)\} \times h / 10$

$10 \leq h \leq 30 \quad T_i = 0.39 \times n \times h + 0.744 \times (B+1.5) + 0.837 \times n$

(訂正箇所) 下巻 308 ページ 経費積算要領 第2 20 その他の機器 本文6行目

2011 モルタルコンクリート吹付機 (法面用) の次の行に **以下の行を追加**

	017	[湿式・モータ駆動]		…… (以下空欄) ……
--	-----	------------	--	--------------

第1版 令和2年9月10日

第2版 令和2年9月21日